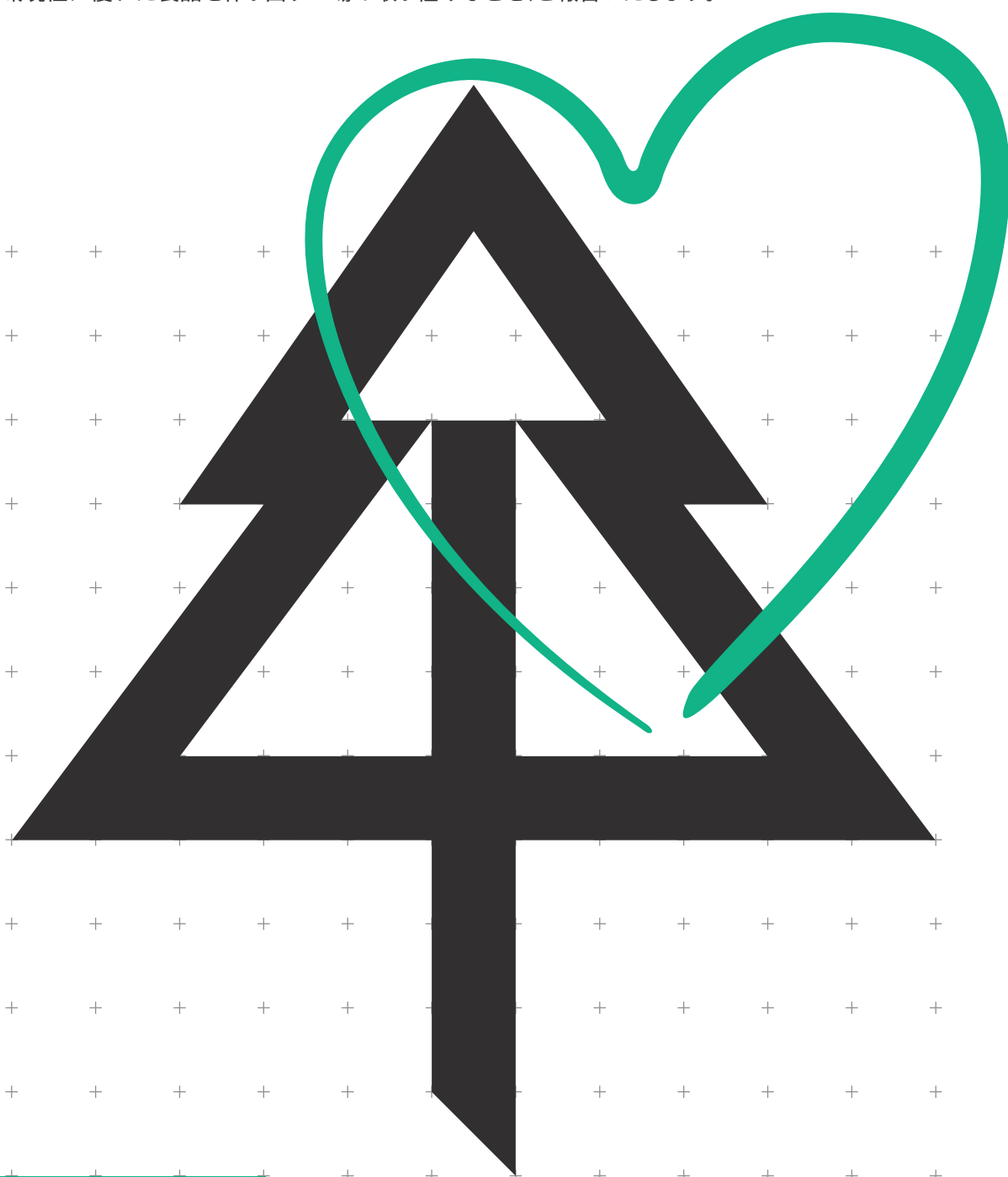


CSR Summary Report 2022

「CSR Summary Report2022」では、2021年度のCSR活動のハイライト、製品の環境への取り組みや、環境性に優れた製品を作り出す工場の取り組みなどを、ご報告いたします。



トップコミットメント

Top Commitment

「京セラフィロソフィ」の
実践を通して、人類、社会の
進歩発展に貢献します。



代表取締役社長
安藤 博教

人間として正しいことを正しいままに貫く

京セラグループの経営の根幹は、「人間として何が正しいか」を判断基準として、人間として当然持つべき倫理観、道徳観、社会的規範に従って、公明正大な経営を行っていくことの重要性を説いた企業哲学である「京セラフィロソフィ」です。

そして、その企業哲学を実践していくために創り出された京セラグループ独自の経営手法である「アメーバ経営」を実践することで全員参加の経営を推進するとともに、お客様、お取引先様、従業員などすべてのステークホルダーの皆様タイムリーに情報開示するなど、透明性の高い企業活動に取り組んでいます。

京セラドキュメントソリューションズにとってのCSRは、経営の根幹である京セラフィロソフィの実践そのものであり、京セラフィロソフィを実践することにより、ステークホルダーの皆様との相互信頼の構築、京セラドキュメントソリューションズの持続的な発展、そして社会の健全な発展に寄与することにつながると考えています。

今後も「京セラフィロソフィ」の実践を通して、人類、社会の進歩発展に貢献してまいります。

事業を通じた社会への貢献

現代社会は、経済のグローバル化、エネルギー需要の増大や地球温暖化、天然資源の枯渇など、さまざまな地球規模の課題を抱えています。これらの課題に対し京セラドキュメントソリューションズは、20年以上も前から、長寿命で廃棄物が少ない複合機やプリンターを開発し、地球環境に優しい製品を供給してきました。廃棄される消耗部品を極小におさえ、同時に製品の使用にかかるコストの最適化を実現することで、お客様に経済的なメリットを提供し続け、満足していただける製品作りに努めています。

グローバルなCSR課題への対応

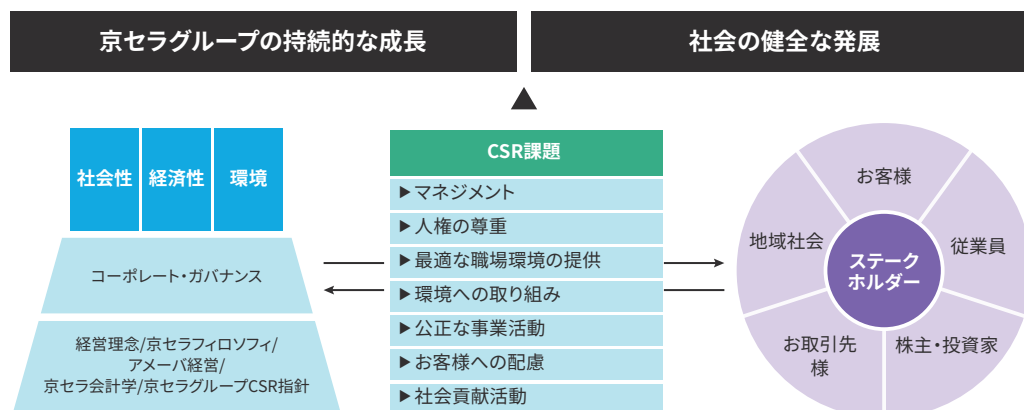
私たちは、京セラグループの一員として、「社会との共生・世界との共生・自然との共生。共に生きる (LIVING TOGETHER)」をすべての企業活動の基本に置き、グローバルな社会課題を解決するために、国際規範の順守、現地の習慣や文化などの多様性の尊重、環境と調和をはかりながら地域に根ざした事業活動を展開することが重要と考えています。

そのことを実現するために、京セラグループでは、人権、労働、環境、腐敗防止に関する基本的原則である国連グローバルコンパクトに参加するとともに、京セラグループで定められている「京セラグループCSR指針」を行動規範として、透明性の高い経営、公明正大な企業活動を徹底することはもちろんのこと、地域社会、従業員と一体となって相互の信頼関係を構築し、社会の健全な発展に貢献してまいります。

京セラドキュメントソリューションズのCSR

CSR at KYOCERA Document Solutions

当社は、京セラグループの一員として、「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」を経営理念に掲げ、人間として何が正しいかを判断基準とする「京セラフィロソフィ」をベースに経営を行っており、CSR活動の根幹となっています。この「京セラフィロソフィ」の実践を通して、CSR課題の解決に取り組み、ステークホルダーとの相互信頼の構築、京セラグループの持続的な発展をはかるとともに、社会の健全な発展に貢献していきたいと考えています。



国際的なイニシアチブへの参加

Participation in International Initiatives

当社は以下の国際的なイニシアチブに加盟し、サステナブル活動を推進しています。

国連グローバルコンパクト

UN Global Compact (UNGC) とは、人権、労働、環境、腐敗防止における普遍的な10原則を示したもので、世界各国の企業に対して、支持し実践することを求めています。京セラグループは2011年9月よりUNGCに参加しています。

WE SUPPORT



RBA(責任ある企業同盟 / Responsible Business Alliance)

当社は2021年12月にRBAに加盟しました。RBAは、世界の電子機器メーカーや大手サプライヤーなど約190社で構成されており、グローバルなサプライチェーンを通じて環境・安全・倫理・人事・管理システムの領域でサステナビリティの向上を目指しています。



Responsible Business Alliance
Advancing Sustainability Globally

RMI(責任ある鉱物調達イニシアチブ / Responsible Minerals Initiative)

当社は2021年8月にRMIに加盟しました。RMIは、責任ある鉱物調達に関する取り組みを主導している団体で、世界で10以上の業界から、400社以上の企業や団体が参加しています。



京セラグループCSR指針

Kyocera Group CSR Guidelines

序文

京セラでは、創業当初より、「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」を経営理念に掲げ、「京セラフィロソフィ」をベースに経営を行っており、京セラグループの経営の根幹となっています。「京セラフィロソフィ」の日々の実践により、ステークホルダーとの相互信頼の構築、京セラグループの持続的な発展をはかるとともに、社会の健全な発展に貢献していきます。

そこで、企業行動の規範となるべき「京セラグループCSR指針」を定め、持続可能な社会の創造へ向けて行動します。

なお、本指針は、京セラ株式会社および京セラグループ会社、ならびに、すべての役員と従業員に適用します。

1. 基本的責務

私たちは、法令および社内ルール等を遵守し、「京セラフィロソフィ」をベースに確固たる倫理観をもち、「人間として何が正しいか」を判断基準に、グローバルに企業活動を行います。

2. 人権・労働

2-1 労働環境の変化や、各国の特性や生活文化を絶えず認識し、適切に対応できる人事制度の構築をはかっていきます。

2-2 従業員の人権を尊重し、虐待や各種ハラスメントをはじめとする過酷で非人道的な扱いを行いません。

2-3 従業員との意見交換や情報の共有化をはかり、働きがいのある魅力的な職場環境づくりを推進します。

2-4 各国の法令や労働慣行を踏まえ、自由に結社する権利を尊重します。

2-5 強制労働や児童労働はさせません。

2-6 不当な差別的処遇は行いません。

3. 安全衛生

私たちは、安全衛生・消防防災に関する法令を遵守し、リスクアセスメントの実施や緊急災害時への備えなど、より積極的かつ継続的に労働安全衛生対策を行うことで、事故災害のない安全で安心して働ける職場環境を提供します。

4. 環境保全

私たちは、「京セラグループ環境安全方針」を目指すべき環境保護活動の指針とします。

環境保全、省エネルギー・地球温暖化防止、省資源、地球環境商品開発、生物多様性の保全等の環境対策について総合的な取り組みを行い、より積極的かつ継続的に地球環境保護に貢献する改善活動を行うとともに、その取り組みを広く社会に発信します。

5. 公正取引・倫理

- 5-1 公正、透明、自由な競争ならびに適正な取引を行います。
- 5-2 国内外の関連法令に則り、明確な輸出入管理体制を整備し対応します。
- 5-3 資材調達に関して法令等を遵守し、優越的地位を濫用することなく、誠実かつ公平かつ公正に行い、相互信頼にもとづくパートナーシップの構築に取り組みます。
- 5-4 お取引先様に対して、CSR活動に対する理解と協力を促します。
- 5-5 知的財産権の創造、保護、活用をはかるとともに、他者の知的財産権を尊重し権利侵害を未然に防止します。
- 5-6 ステークホルダーとの関係において不適切な利益の供与や受領を行いません。
- 5-7 政治、行政との健全かつ正常な関係を保ち、贈賄や違法な政治献金などを行いません。
- 5-8 断固として反社会的勢力と対決する姿勢を堅持し、あらゆる不当な要求を拒否します。
- 5-9 不正行為を予防するための活動を行い、また、早期に発見し対応するための制度を整えます。
- 5-10 人権侵害等を引き起こしている武装勢力の資金源となる紛争鉱物およびそれらから派生する金属を使用した材料・製品などを購入しません。

6. 品質および製品安全

私たちは、「京セラ品質方針」および「京セラ製品安全方針」を目指すべき指針とします。

7. 情報開示

私たちは、適切な情報開示や積極的な広報・IR活動などを通じて、常に社会とのコミュニケーションをはかり、公正かつ透明性の高い開かれた企業となることを目指します。

- 7-1 株主・投資家をはじめとするステークホルダーへの迅速、適正かつ公平な情報開示に努め、当社の経営および事業活動への理解促進をはかります。
- 7-2 株式の売買の公正をはかり、未公表の内部情報を利用した株式売買などの、インサイダー取引の防止に努めます。

8. 情報セキュリティ

私たちは、個人情報や秘密情報が重要な情報であることを認識し、情報の漏洩防止に努めるとともに情報セキュリティの維持および推進を行います。

- 8-1 個人情報がプライバシーを構成する重要な情報であることを認識し、その保護の徹底をはかります。
- 8-2 顧客や第三者から受領した秘密情報や業務上知り得た自社の秘密情報を適切に管理および保護し、漏洩、不正使用を防止します。

9. 事業継続計画 (BCP)

私たちは、事業継続計画BCP(Business Continuity Plan)を策定し、災害等により供給に懸念が発生した場合でも、速やかな復旧と操業を目指します。

10. 社会貢献

私たちは、企業は社会の一員であるとの認識に立ち、いつの時代も地域・社会の発展を支える企業市民としてその責任を果たし、事業のみならず、さまざまな社会貢献活動を行います。

- 10-1 地域との交流やスポーツ支援を積極的に行い、地域社会の発展に貢献します。
- 10-2 学術・研究、文化・芸術、国際交流・協力、環境保護活動など、社会に貢献するさまざまな活動を通じて、社会の一員としての責任を果たすよう努めます。

2021年度 CSR活動ハイライト

CSR Activity Highlights

1. 「2021日本パッケージングコンテスト 電気・機器包装部門賞」を受賞

当社のA4プリンターの製品包装が、公益社団法人 日本包装技術協会が主催する「2021日本パッケージングコンテスト」にて、「電気・機器包装部門賞」を受賞しました。当コンテストは日本で最大規模の包装コンテストで、3年連続15回目の受賞です。

今回受賞した包装は、脱プラスチックのため、緩衝材に発泡スチロールではなく古紙をリサイクルして作られたパルプモールドを使用しています。パルプモールドの緩衝材は、発泡スチロールの緩衝材に比べると、一度衝撃で破損してしまうと元に戻りにくいという問題があります。その問題を解消するために、製品と緩衝材が接する面積を極力増やし、衝撃を分散させる包装設計を行いました。最も落下頻度が高いと想定される底面からの落下において、1.5mの高さから落としても製品が破損しないように、荷扱いの衝撃に耐えられる包装を実現しています。

また、今回開発したパルプモールドは、発泡スチロールと同等の干渉性を持ち、外箱と製品の緩衝距離を発泡スチロール使用時と同様に3cmに抑えたコンパクトな包装を実現しており、製品輸送における効率化も図っています。

今回の開発は、「脱プラスチック」に取り組み、選考基準である省資源化と環境問題への対応などが評価され、名誉ある賞をいただきました。



パルプモールドを使用した包装のカットモデル

2. 「サステナビリティアワード」を受賞

京セラドキュメントソリューションズ ドイツは、サステナビリティ戦略が評価され、「German Award for Sustainability Projects」を受賞しました。この賞は、ドイツサービス品質研究所、ニュースチャンネルntv、DUP誌が、ブリジット・ジブリーズ元連邦経済大臣の後援を受けて授与するものです。この「German Award for Sustainability Projects」は、サステナビリティの分野における企業のベストプラクティスをより多くの人に知ってもらうことを目的としており、専門家で構成される審査員が、企業や団体のCSRプロジェクトをエコロジー基準に基づいて評価します。原材料の効率化、リサイクル、環境保護に加えて、教育、健康、雇用などの社会的目標も評価の対象となります。京セラドキュメントソリューションズ ドイツは、サステナビリティ戦略部門で高い評価を得て、1位を獲得しました。審査員は声明の中で、「京セラドキュメントソリューションズ ドイツはCSRにおける業界のパイオニアであるとともに、パートナー様も取り込んだ 環境保護活動は大きな影響を持つ」と評価しています。



京セラドキュメントソリューションズ ドイツのCSRマネージャー、Daniela Matysiakのコメント

「当社にとって、環境保護は長年にわたり重要な役割を果たしてきました。」Print Green”プロジェクトの一環として、当社はトナーや複合機を環境に配慮した形で提供しています。これは、ゴールドスタンダードを獲得した3つの国際的な環境保護プロジェクトに投資することで、2020年以降、クライメイト・ニュートラル企業となっています。さらに、Deutsche Umwelthilfe (ドイツ環境保護団体) と協力関係にあり、約35年前から”Living Rivers”プロジェクトの一環として自然保護プロジェクトに参加しています。当社のサステナビリティ戦略は、当社の事業戦略と密接に関連しており、継続的に推進しています。今回、専門家の審査員がこうした活動を評価し、第1位を授与してくれたことを嬉しく思います。」

3. 「APCOアワード2021」を受賞

京セラドキュメントソリューションズ オーストラリアは、Australian Packaging Covenant Organization (APCO) のエレクトロニクス部門賞を受賞しました。これまでAPCOアワード2018および2020を受賞しており、今回が3度目の受賞となります。

APCOは、オーストラリアにおけるパッケージングの循環型経済の発展をリードする非営利団体です。毎年開催されるAPCOアワードの授賞式では、持続可能なパッケージングデザインとイノベーションを主導する組織を表彰しています。



受賞記念のトロフィー

4. 大阪府共同募金会から感謝状を受領

京セラドキュメントソリューションズ本社、および枚方工場は、これまでの永年に渡る共同募金活動への協力に対し、社会福祉法人 大阪府共同募金会から、「令和3年度大阪府社会福祉大会」において感謝状が贈呈されました。募金は大阪府共同募金会を通じて、地域の福祉施設や支援を必要とする方々のために役立てられます。当社は、2001年より共同募金活動への協力を実施しており、民間社会福祉事業の向上発展に対する長年の貢献が認められ表彰されました。



大阪府社会福祉大会での感謝状の贈呈

5. 子どもたちへのクリスマスプレゼントの寄付

京セラドキュメントソリューションズ アメリカでは、恵まれない子どもたちにおもちゃをクリスマスプレゼントとして贈る慈善プログラムである、「Toys for Tots」に2005年から継続して参加しています。今年も、社員から提供されたおもちゃを寄付しました。

京セラドキュメントソリューションズ ドイツでは、病気の子どもたちを抱えた家族を支援しているNPO(Initiative Schmetterling Neuss e.V.)に、社員から提供されたクリスマスプレゼントを寄付しました。これらのプレゼントは、NPOを通じて子どもたちに贈られます。この支援活動への参加は今年で4年目になります。



ドイツ



アメリカ

6. フードバンクへの食糧提供

京セラドキュメントソリューションズカナダでは、社員からの食料支援を募り、約250ポンド(約114 kg)の食糧を地元のフードバンクに提供しました。この他にも、さまざまな地域で同様の活動が行われています。



カナダ社員からの食糧

7. 「ビジネス・クリーンアップ・デイ」に参加

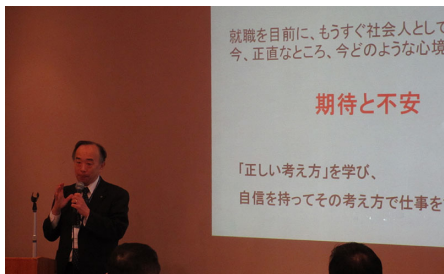
京セラドキュメントソリューションズ オーストラリアは、毎年全土で行われているボランティア清掃活動「ビジネス・クリーンアップ・デイ」に2003年から継続的に参加しています。この活動の主催団体であるClean up Australiaは、情熱的なヨットマンであるIan Kiernan氏によって創設されました。30年以上前に彼が数人の友人と始めたシドニー港の清掃活動がきっかけとなり、今やオーストラリア全土で行われる清掃活動となっています。



メドーバンク公園での清掃活動

8. 大阪市児童福祉施設連盟の活動の支援

京セラドキュメントソリューションズ本社は、各種スポーツ大会へのボランティアの派遣、絵画展の冊子の作成、中学校・高校を卒業して社会に出る生徒を対象に連盟が主催する研修会での「新・社会人の心得」の講師など、大阪市児童福祉施設連盟の活動を支援しています。



研修会での講習



駅伝・ロードレース大会での沿道誘導



フットサル大会での賞品授与

9. 淀川ワンドでの生物多様性保全活動を実施

京セラドキュメントソリューションズ本社、および枚方工場は、大阪府淀川で、国の天然記念物イタセンパラとその生息地である淀川ワンドの自然再生活動に参加しています。



地引網による在来魚の保護



外来植物の駆除

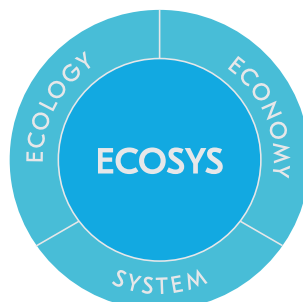


イタセンパラ

エコシスコンセプト

Ecosys Concept

1992年初代エコシスプリンター「ECOSYS FS-1500」の誕生以来、プリンターの部品を極限まで長寿命化し、部品や消耗品の廃棄を少なくすることで環境への負担を小さくする(Ecology)とともに、経済的なメリットもお客さまに提供する(Economy)ことができるエコシスコンセプトに基づいた製品開発を継続しています。



エコシスコンセプト



初代エコシスプリンター
ECOSYS FS-1500

2021年度 環境ラベル取得製品

Products Compliant with Environmental Labels

環境に配慮された製品であることを、お客様に分かりやすく伝えるために環境ラベルの制度があります。当社は、環境に配慮した製品作りに取り組んでおり、積極的に環境ラベルの取得を進めています。右表に、2021年度に環境ラベルを取得・登録した製品を示します。



2021年度 環境ラベル取得製品

—：対象国販売無 ※：前年度に取得済

環境ラベル				
製品名		エコマーク (日本)	EPEAT (アメリカ)	ブルー エンジェル (ドイツ)
複合機	TASKalfa 2554ci	※	○ (Gold)	※
	TASKalfa 3554ci	※	○ (Gold)	※
	TASKalfa 4054ci	○	○ (Gold)	○
	TASKalfa 5054ci	○	○ (Gold)	○
	TASKalfa 6054ci	○	○ (Gold)	○
	TASKalfa 7054ci	○	○ (Gold)	○
	TASKalfa 4004i	—	○ (Gold)	—
	TASKalfa 5004i	○	○ (Gold)	○
	TASKalfa 6004i	○	○ (Gold)	○
	TASKalfa 7004i	○	○ (Gold)	○
	TASKalfa 4054ci W	○	—	—
	TASKalfa 5054ci W	○	—	—
	TASKalfa 6054ci W	○	—	—
	TASKalfa 7054ci W	○	—	—
	TASKalfa 5004i W	○	—	—
	TASKalfa 6004i W	○	—	—
	TASKalfa 7004i W	○	—	—

環境保護活動

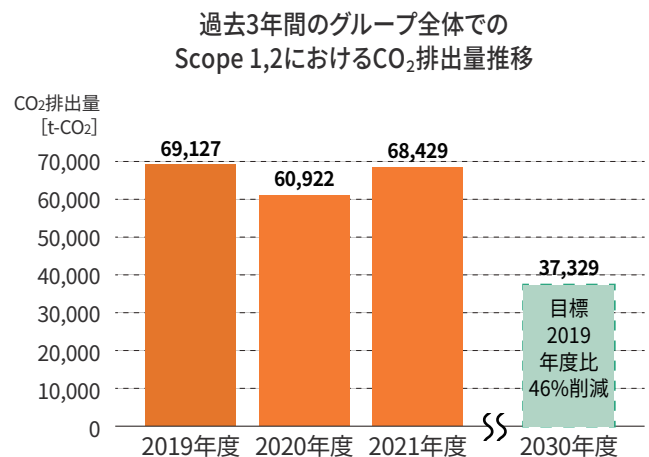
Environmental Protection Activities

京セラグループは、創業以来、「敬天愛人」の社是のもと、「社会との共生」、「世界との共生」、そして「自然との共生」という3つの「共生（LIVING TOGETHER）」をすべての企業活動の基本に置き、エコロジー（環境性）とエコノミー（経済性）の両立を追求しながら持続的な発展をめざす「環境経営」にグループを挙げて取り組んでいます。京セラドキュメントソリューションズは環境マネジメントシステムの運用を通じ、「京セラグループ環境安全方針」に基づいた環境経営を実施しています。

2021年度の取り組みと実績

1. 2021年度 各拠点のScope 1,2^{※1}におけるCO₂排出量

	Scope 1,2におけるCO ₂ 排出量[t-CO ₂]
国内生産拠点	22,198
海外生産拠点	29,436
国内非生産拠点	2,915
海外非生産拠点	13,880
グループ合計	68,429



※1 Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)、Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

2. 2021年度 各拠点の電気使用量・産業廃棄物排出量・水使用量

	電気使用量 [MWh]	産業廃棄物排出量 [t]	水使用量 [m ³]
国内生産拠点	54,771	592	142,981
海外生産拠点	48,967	1,583	517,033
国内非生産拠点	4,918	106	21,574
海外非生産拠点	11,148	1,033	374,275
グループ合計	119,804	3,314	1,055,863

3. 環境保護活動実績

2021年度目標	対象範囲 ^{※2}	2021年度実績
エネルギー使用量を29,198[kL]以下にする	①	▶ 28,786 [kL]
CO ₂ 排出量を22,212[t-CO ₂]以下にする	①	▶ 24,211 [t-CO ₂]
産業廃棄物排出量を985[t]以下にする	②	▶ 867 [t]
水使用量を562,948[m ³]以下にする	②	▶ 660,014 [m ³]
プラスチックの削減施策を8件実施する	①	▶ 14 施策 実施

※2 対象範囲:

- ① 本社・枚方工場・玉城工場・京セラドキュメントソリューションズジャパン大阪本社・中国工場・ベトナム工場
- ② 枚方工場・玉城工場・中国工場・ベトナム工場

ISO14001統合認証拠点における2022年度の環境目標

2022年度目標	対象範囲 ^{※3}
CO ₂ 排出量(Scope1,2)を53,045[t-CO ₂]以下にする	①
産業廃棄物排出量を808[t]以下にする	①
水使用量を652,397 [m ³]以下にする	①
ゼロエミッション(廃棄物の再資源化率99.5%以上)の継続	②
プラスチック削減対策を実施	③

※3 対象範囲:

- ① 枚方工場・玉城工場・中国工場・ベトナム工場
- ② 本社・枚方工場・玉城工場・京セラドキュメントソリューションズジャパン大阪本社
- ③ 本社・枚方工場・玉城工場・京セラドキュメントソリューションズジャパン大阪本社・中国工場・ベトナム工場

長期環境目標^{※4}

地球温暖化対策の国際的枠組みを定めたパリ協定の目標に基づき、2018年にCO₂排出量削減の長期環境目標(1.5℃水準)を設定し、2021年度にこの長期目標を以下の通り更新しました。

- ・国内海外生産拠点における温室効果ガス排出量(Scope 1,2^{※1})削減目標(1.5℃水準): 2030年度46%削減(2019年度比)
- ・温室効果ガス排出量(Scope 1,2,3^{※5})排出削減目標(1.5℃水準): 2030年度46%削減(2019年度比)
- ・再生可能エネルギー導入量: 2030年度20倍(2013年度比)
- ・2050年度にカーボンニュートラル達成

※4 本目標では、電気使用に伴う温室効果ガスだけでなく、ガス使用に伴う温室効果ガスも対象範囲とする。

※5 Scope 3: Scope1,2以外の間接排出(原料調達、輸送、使用、廃棄の他、従業員の通勤、出張など)

三重県度会郡玉城町野篠字又兵衛 704-19

事業内容：サプライ製品の製造および研究開発

敷地総面積：101,511m²建築延床面積：36,552m²

従業員数：240名(2022年3月末現在)

電力使用量：40,082MWh(2021年度)

水使用量：112,326m³(2021年度)

『お伊勢さん』の西隣り三重県玉城町に位置する、京セラドキュメントソリューションズ 玉城工場は、複合機やプリンターの消耗品である、トナーの開発から生産までを担うトナー生産を主体とした工場です。この重要な事業活動を持続的に成長・発展させ続けるため、当工場でもCSR活動に積極的に取り組んでいます。周辺は豊かな自然環境に恵まれており、住宅地、農作地にも隣接しています。そのため特に「環境保全」、「地域との共生」、「安全な職場の実現」を最重要課題に掲げています。

「環境保全」については、工業排水、粉塵などを対象に管理を徹底しています。また、玉城町には希少動植物の生息が確認された湿地帯があり、希少動物の研究や環境学習の場として活用できるよう、ビオトープとしての整備に微力ながら貢献しています。「地域との共生」については、周辺の清掃はもちろん、近隣地域施設の清掃活動にも積極的に参加し、また、玉城町の小学校に対して環境出前授業の実施や、中学生の学習の場として職場体験の場を提供することで青少年育成活動に取り組み、多数の地域住民の皆様と友好的な関係を築くことに努めています。

「安全な職場の実現」については、ISO45001労働安全衛生マネジメントシステムの認定取得工場として継続的な改善に取り組み、社内基準の「パーフェクト5S」(すなわち完璧な5S:整理・整頓・清掃・清潔・躰)を実践し、安心して働くことのできる職場環境作りと、無事故無災害の継続に取り組んでいます。このように、私たちは持続可能な改善目標を設定し、その解決に継続的に取り組み、その活動を近隣住民の皆様、お取引先様、地元の行政機関の皆様に対して、定期的にCSR報告会を通じて報告しています。

優秀安全運転事業所として金賞を受賞

自動車安全運転センターより、優秀安全運転事業所として、金賞[※]を受賞しました。当工場周辺には公共交通機関が少なく、通勤はもちろん日常生活においても自動車は欠かすことができません。そのため、業務はもちろんですが、業務以外においても、決して交通事故などを発生しないよう、交通安全強化月間を設けて交通安全指導を実施したり、事故の内容を工場内で共有して社員に注意喚起するなど、工場全体で安全運転を心がけるように取り組んでいました。引き続き、交通事故などが発生しないよう、安全運転に努めていきます。

※ 金賞の授与基準:

- ・対象事業所:20人以上
- ・(交通違反を犯した社員数/社員総数)x100:2%以下
- ・(交通事故を起こした社員数/社員総数)x100:0.5%以下



安全運転センター三重事務所の所長(左)と西村工場長

ビオトープ再生活動への参画

環境保護団体「清(すが)し有田佐田沖環境保全会」と里地里山の保全・再生の取り組みに関する協定書を締結し、ビオトープ再生活動を行っています。元・田んぼであった湿地帯の除草・間伐や植物の植え付け、水路の整備などの活動を行った結果、希少動植物の生息が確認されています。また、ビオトープの再生と並行して、子どもたちの環境学習を目的とした観察会の支援も行っています。



ビオトープ観察会

Kids'ISO 14000環境出前授業を実施

三重県では、小学校児童が家庭における省エネルギーなどの活動を通じて環境への関心を高める「Kids'ISO 14000プログラム(入門編)」を推進しています。これは、県の環境基本計画に織り込まれた環境教育の実践の場になります。私たちは、2005年よりこのプログラムに協力し、毎年、玉城町の小学校で環境出前授業を行っています。



リモートで実施した環境出前授業

田丸城跡での清掃活動を実施

玉城町が春と秋に主催する田丸城跡クリーン作戦に、毎年、労働組合とともに参加しています。このクリーン作戦は、玉城町が誇る歴史文化遺産である田丸城跡を町民みんなで守り、育てていくことを目的に実施されています。町内の他の団体・企業からの参加者とともに草刈りや清掃活動を行っています。



清掃活動の様子

玉城工場 2021年度 環境データ

環境パフォーマンス

項 目	単 位	2020年度	2021年度
エネルギー使用量	kL/年(原油換算)	8,757	10,005
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	16,112	17,178
水使用量	m ³ /年	87,683	112,326
産業廃棄物排出量	t/年	469	543
排水量(排水処理施設)	m ³ /年	33,493	45,778

排水の水質関連

項 目	単 位	法・公的規制	実測値
水素イオン濃度(pH)	—	5.0を超え9.0未満	7.0
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	600未満	0.8
浮遊物質質量(SS)	mg/L	600未満	1.9
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	5未満	1未満

騒音関連

時間区分	単 位	法・公的規制	実測値
朝(6時～8時)	dB	55未満	48.0
昼(8時～19時)		60未満	51.6
夕(19時～22時)		55未満	53.0
夜(22時～翌6時)		50未満	47.8

振動関連

時間区分	単 位	法・公的規制	実測値
全日	dB	60未満	30未満

事業内容：複合機、プリンター、サプライ製品の製造
および国内物流拠点

敷地総面積：46,017m²

建築延床面積：58,978m²

従業員数：247名(2022年3月末現在)

電力使用量：14,689MWh(2021年度)

水使用量：30,655m³(2021年度)



枚方工場は、今年で設立58年を迎えています。大阪・京都・奈良の3都市からほど近い立地でありながら、周辺には、穂谷川、探鳥地としても有名な山田池や「モニタリングサイト 1000^{※1}」、「日本の里 100選^{※2}」の一つに選定された「穂谷地区の里山」など豊かな自然に恵まれた環境にあります。この環境を保護するため、工場からの排気排水品質の徹底管理や、省エネ、廃棄物の削減、および再利用とともに、定期的に近隣道路や河川敷の清掃活動も行っています。また、社員が安全、安心に働けるよう、継続的に福利厚生の改善を行うとともに、労働安全衛生マネジメントシステムのもと、5S活動を推進しています。当工場が、長年にわたり事業活動できるのも、ひとえに近隣住民の皆様をはじめとする地域社会のご支援のおかげと深く感謝し、今後も引き続き企業の社会的責任を果たしていきます。

※1 環境省による里地調査の重点調査地域

※2 朝日新聞社・(財)森林文化協会による選定

職業講話を実施

当工場が所在する大阪府枚方市では、市内の中学校を対象に「キャリア教育」と題して、中学生に職業や働くことについて考えるきっかけづくりをするため、1年生には職業講話、2年生には職場体験学習、3年生には進路指導といったプログラムを推進しています。その一環として、当工場に職業講話の依頼があり、長尾中学校1年生を対象に、リモートで講話を実施しました。講話のあと、生徒たちから多くの質問が寄せられ、意識の高さを感じることができました。



リモートで開催された講話

清掃活動「アドプト・ロード&リバー」を実施

大阪府が主催する清掃活動「アドプト・ロード&リバー・プログラム」に、2004年から参加しています。アドプト・ロードでは毎月1回、最寄駅から工場の正門前までの歩道を清掃します。また、アドプト・リバーでは、3カ月に1回、工場の横を流れる穂谷川左岸の遊歩道の清掃活動をそれぞれ実施しています。



アドプト・リバー



アドプト・ロード

授産施設のクッキー販売を支援

近隣の授産施設は、障がいを持つ人たちが、社会人として仕事をしながら自立できるよう、クッキーを作って販売し利益を得ることにより、やりがいを持って明るく仲間と働くことを支援しています。この活動を応援するため、毎月工場でのクッキー販売を実施しています。



工場でのクッキー販売

「打ち水大作戦」に参加

当工場が所属している枚方市地球温暖化対策協議会の呼びかけに応じて、夏季の暑さ対策の取り組みの一環として枚方市内で行政、事業者、個人を対象に一斉に行われる「打ち水大作戦」に参加し、工場内の道路に打ち水を実施しました。



打ち水大作戦



枚方工場 2021年度 環境データ

環境パフォーマンス

項目	単位	2020年度	2021年度
エネルギー使用量	kL/年(原油換算)	3,162	3,874
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	4,526	5,019
水使用量	m ³ /年	28,665	30,655
産業廃棄物排出量	t/年	50	49
排水量(排水処理施設)	m ³ /年	15,111	15,615

排水の水質関連

項目	単位	法・公的規制	実測値
水素イオン濃度(pH)	—	5.8以上8.6以下	7.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	35以下	3.7
浮遊物質濃度(SS)	mg/L	70以下	2.8
ノルマルヘキサン抽出物質含有量	mg/L	4以下	1.0

排気関連

項目	単位	施設名	法・公的規制	実測値
ばいじん	g/Nm ³	ガス吸収式冷温水器 AR-1	0.05以下	0.011
NOx※	ppm	ガス吸収式冷温水器 AR-1	150以下	34

※ 窒素酸化物

騒音関連

時間区分	単位	法・公的規制	実測値
朝(6時～8時)	dB	50以下	36.1
昼(8時～18時)		55以下	48.2
夕(18時～21時)		50以下	44.6
夜(21時～翌6時)		45以下	42.3

振動関連

時間区分	単位	法・公的規制	実測値
昼(6時～21時)	dB	60以下	39
夜(21時～翌6時)		55以下	33

クリーン&グリーンプラント

中国工場

中国広東省東莞市石龍鎮方正東路3号

事業内容：複合機、プリンター、サプライ製品の製造

敷地総面積：136,969m²建築延床面積：231,792m²

従業員数：7,140名(2022年3月末現在)

電力使用量：38,424MWh(2021年度)

水使用量：419,723m³(2021年度)

中国工場は、2001年に稼働し、複合機、プリンターの生産を通してお客様に信頼され、選んでいただけるものづくり・品質を追求し、また、日々改善意識を持って業務にあたることで、京セラグループの目標である「世界中から尊敬される企業『ザ・カンパニー』の実現」を目指しています。工場運営においては、京セラグループの経営理念である「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」を追究することが、「持続可能な世界の実現」に繋がると考え、日々事業活動を行っています。そして、この経営理念実現のためには、サプライチェーン全体の相互繁栄が必要との思いから、お取引先様と一体となり「人権の尊重」「環境保全」「労働安全衛生」「コンプライアンスの徹底」などの活動に取り組んでいます。また京セラグループの一員として国内法令遵守はもとより、国連の「世界人権宣言」や国際労働機関(ILO)の「労働における基本的原則および権利に関するILO宣言」などの国際基準に則り取り組んでいます。特に、環境保全活動については、省エネ活動では、従来の設備から最新の省エネ設備への転換を進めています。また、環境への影響を最小にするため、工場排水・排気は地域の排出基準以上の高い目標を設定し管理することで、よりクリーンな状態を維持するとともに、廃棄物の削減をするために社員一人一人がリユース・リサイクル意識を徹底し、製造現場の隅々まで無駄のない管理を実践しています。さらに、生産工程で使用した水についても排水処理を行い、工場で使用する生産設備補給水などへ再利用しています。

「京セラクラス」を開設

当工場は、2012年9月から中国各地の職業専門学校に、企業の技術やノウハウを学生に指導する「京セラクラス」を開設しています。現在、3校開設しており、約550名の学生が在籍しています。



京セラクラス

エコアクションを実施

6月から9月までの4カ月間、「エコアクション」と称したさまざまな環境保全活動を実施しています。「省エネ・廃棄物の削減に全員参加し、皆でグリーン生産企業を作り上げよう」というスローガンのもと、総経理による環境巡視を行うとともに、近隣の公園にて外来植物の駆除および清掃活動を行いました。



工場内に掲げられたスローガン



外来植物の撤去作業

VOC^{※1}排出量の削減

有機溶剤を使用する作業場に VOC 処理装置を設置しました。これにより、VOC 排出量を年間で約 300kg 削減できました。また、VOC 発生濃度などを随時監視するため、オンライン監視システムの導入も行っています。この結果、2021 年度は VOC の大気への排出濃度を、前年度比で約 1/10 にすることが出来ました。これらの取り組みにより、東莞市生態環境局の VOC 等級評価制度において、当工場は A ランクの評価^{※2}をいただきました。



新たに設置された VOC 水処理装置



新たに設置された VOC 収集装置

※1 Volatile Organic Compounds: 揮発性有機化合物

※2 VOC 除去率が 90%以上、排気ガス収集口の風速が 0.3[m³/秒] 以上などの条件を満たした企業に与えられる。

企業内保育施設の運営

子どもを持つ社員の働きやすい環境づくりの一環として、労働組合と連携して、子どもたちを預かる企業内保育施設「童楽園」を運営しています。また、夏期休暇中の子どもたちを一時的に預かる「京セラサマークラス」を設置し、2021年度は53名の社員の子供たちが利用しました。



童楽園の子どもたち

中国工場 2021年度 環境データ

環境パフォーマンス

	単 位	2020年度	2021年度
エネルギー使用量	kL/年(原油換算)	10,648	10,618
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	21,916	24,433
水使用量	m ³ /年	362,337	419,723
産業廃棄物排出量	t/年	428	385
排水量(排水処理施設)	m ³ /年	13,038	15,535

排水の水質関連

項 目	単 位	法・公的規制	実測値
水素イオン濃度(pH)	—	6.0以上9.0以下	7.68
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	20以下	1.75
浮遊物質(SS)	mg/L	60以下	7.75

排気関連

項 目	単 位	法・公的規制	実測値
ばいじん	mg/m ³	20以下	1.73
NOx ^{※1}	mg/m ³	150以下	83.33
VOCs	mg/m ³	80以下	1.89
NMHC ^{※2}	mg/m ³	100以下	2.26

※1 窒素酸化物

※2 非メタン炭化水素

ベトナム工場

ベトナムハイフォン市 VSIP ハイフォン工業団地内
No. 56A, 56B and 56C

事業内容：複合機、プリンター、トナーコンテナの製造
および研究開発

敷地総面積：200,446m²

建築延床面積：226,777m²

従業員数：6,066名(2022年3月末現在)

電力使用量：10,543MWh(2021年度)

水使用量：97,310m³(2021年度)



ベトナム工場は、中国工場に続き、2012年10月1日より生産を開始した京セラドキュメントソリューションズにとって二つ目の海外工場です。当工場は、経営理念である「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」を具現化するため、ベトナムでナンバーワンの魅力ある工場を目指して、日々工場運営に励んでいます。さらに、製造拠点としての機能のみならず研究開発部門も設置しており、ベトナムの優秀な人たちがその能力を生かすことができる職場環境を提供することによって、ベトナムの地域発展に貢献いたします。

「第20回ゴールデンドラゴンアワード」を受賞

ベトナム経済タイムス主催の「第20回ゴールデンドラゴンアワード」を受賞しました。ベトナム経済タイムスはビジネス層の購読が多い経済誌であり、本誌は、毎年ベトナム国内に所在する外資系企業を対象に、業績やベトナムへの投資・貢献、環境への取り組みなどを総合的に評価し、上位60社を表彰しています。



授賞式

ベトナム航海大学の学生に奨学金を授与

ベトナムの次世代を担う人材の育成を支援することを目的に、ハイフォン市にあるベトナム航海大学の学生に対し、奨学金を授与しています。2013年から奨学金の授与をスタートし、これまでに36名の学生に授与しています。



奨学金を授与された学生

歳末助け合い募金活動を実施

ベトナムの旧正月（ベトナム語：テト）の前に社員へ助け合い募金を呼びかけ、集まった募金に当工場・労働組合からの拠出金を加えたものを、近辺の児童養護施設やろう学校・盲学校へ生活必需品や学習用具などを寄贈しました。



児童養護施設への寄贈



ろう学校への寄贈



盲学校への寄贈

生物多様性の活動の推進

生物多様性活動の推進として、敷地内にてベトナム固有種のRau ngót（葉野菜）を栽培しています。収穫された野菜は、昼食時に社員に提供されました。



工場敷地内の畑



収穫されたベトナム産葉野菜

ベトナム工場 2021年度 環境データ

環境パフォーマンス

項 目	単 位	2020年度	2021年度
エネルギー使用量	kL/年 (原油換算)	2,557	2,812
CO ₂ 排出量	t-CO ₂ /年	3,737	5,003
水使用量	m ³ /年	90,286	97,310
産業廃棄物排出量	t/年	782	1,198
排水量 (排水処理施設)	m ³ /年	87,941	83,463

排水の水質関連

項 目	単 位	法・公的規制	実測値
水素イオン濃度 (pH)	—	6.0以上9.0以下	7.1
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	50以下	22.6
全浮遊物質 (TSS)	mg/L	100以下	23.8

京セラドキュメントソリューションズ株式会社

〒540-8585 大阪市中央区玉造1丁目2番28号

お問い合わせ先:総務本部CSR部

TEL:06-6764-3611



記載内容は2022年10月現在のものです。
© 2022 KYOCERA Document Solutions Inc.